

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅢ 第2ユニット	評価実施年月日	平成21年4月～平成21年12月
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月21日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>地域の方々との結びつきを重視しています。つつじ独自の理念を作っています。</p>	○	より近隣の方との関わりができたと思います。家庭的でなじみの生活を少しでも実現していきたいと思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>管理者と職員は理念を共通理解できるようロッカー室に理念を貼り社内研修時に2か月に1度読み合わせを行なっています。</p>	○	理念を共有する事を大切にし、日々の関わりの中で役立て質の向上につなげていけるように努めています。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>事業所内、玄関などにご家族や来訪者がみえた際に見て頂けるよう理念を掲示しています。</p>	○	2ヶ月に1度の運営推進会議で理念についてお話する機会を設けていきたいと思っています。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>散歩の際や庭の手入れをしている時などにご近所の方にご挨拶をさせてもらっています。夏祭りの時期には、立ち寄って頂けるようお知らせしています。</p>	○	面会の方や近隣の方に気軽に立ち寄れる雰囲気でお迎えし、よりホームを知って頂けるようふれあえる機会が増えたらと思います。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>ホームの夏祭りをお知らせしています。又、近隣の病院の盆踊りにお誘いを受け参加させてもらっています。小学校や中学校の催しに際にお知らせ下さいます。</p>	○	近く美容室に行かせてもらっています。今後も地域の方との交流を続けていきたいと思っています。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>畑の手入れや花壇作りなど暮らしの一部としてお手伝いや協力を得ています。</p>	○	高齢者の方に教わる事が沢山あります。これからも色々教わりながら行なっていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価・外部評価を行い具体的な改善にむけて取り組みを実施できるよう努めています。</p>	○	職員は自己評価や外部評価を受ける事で評価される事、改善する事を知ることが出来、一人ひとりの意欲の向上につなげていきたいと心がけています。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2か月に1度、定期的に行なっています。ご利用者様、ご家族、近隣の方々が参加して下さり話し合いに参加して下さいます。</p>	○	内容にマンネリ化が生じないよう 地域の方から意見を頂きながらサービスに役立てればと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>施設のお知らせや地域の取り組みについて伺う機会があります。</p>	○	これからも色々なお話を気軽にできる環境にありたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>社内研修で学ぶ機会があります。内容を学ぶ事で支援できるようにとっています。</p>	○	身近な事なので今後も継続して学ぶ機会が必要と思います。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修で高齢者虐待について学び、知識を得ることで日々の業務で防止に努めています。</p>	○	これからも人としての尊厳を大切に考えていきたいと思っています。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時に ご家族と契約書の内容を読み合わせし 確認しながらお話しています。</p>	○	契約後も ご家族からのお話をいつでも伺える環境であるよう心がけていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ゆっくりとご利用者様とお話する機会を作り 表情や様子を知り お気持ちを汲み取ることができるようにと思っています。	○	個別にお話しを伺えるよう お部屋にお邪魔したり ご利用者様に気を遣わせないような話しやすい雰囲気も大切に考えています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時やお電話や文面にて 日々の様子や健康状態・金銭内容について報告させて頂いています。	○	これからも ご家族に ご利用者様の様子を伝えていきたいと思っています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族から ご意見がある際は 速やかに対応したいと思っています。又 ご意見が話しやすい環境にありたいと努めています。	○	何かあれば いつでも話したいと思って頂けるように今後もご家族とお話ししていきたいと思っています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に社内研修やフロア会議を行なっています。スタッフの声反映できるように研修時にレポートの提出を継続して内容を確認しています。	○	スタッフの声を聞く機会を継続して ご利用者様への支援によりつなげていきたいと思っています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調不良など何か心配がある時は スタッフの応援体制があります。	○	必要時に人員の確保ができるよう 状況に合わせて調整を行っています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員の異動時は ご利用者様のお気持ちに配慮した関わりの時間を持ち 不安が軽減できるように努めています。	○	ご利用者様のお気持ちをゆっくり伺えるようにと考えています。各階の職員が日頃から他階のご利用者様と関わりを続けているので少しでも馴染みの関係が深まるようにと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	月に1回の社内研修、他外部研修等に参加しています。	○ 今後も研修参加の機会を継続し又資格取得を目指していきたいと思います。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	札幌市や手稲区の管理者会議に参加しています。	○ 会議に参加させてもらった際に情報交換を行う事ができ 今後もより話す機会が増えたらと思います。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	スタッフ間でコミュニケーションをとっています。スタッフの表情や行動をみながら声をかけています。フロアの雰囲気明るいです。	○ ストレスが溜まらないように話せる時間や話せる環境を大切にしていきたいと思えます。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	職員の得意な事や自信につながる事を発揮できるようにと思っています。それぞれのスタッフの良さを大切にしていきたいと努めています。	○ 一人一人の努力の評価をより行なっていきたいと思えます。やりがいを感じる事のできる環境にと務めています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	いつもと違った様子や変化が見受けられれば ご本人が話しやすい状況でゆっくりお話を伺ったり、気分転換をして頂いています。	○ ご本人のお気持ちを尊重し安心して話せる雰囲気・環境でありたいと思えます。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	面会時など ご家族の方々とコミュニケーションをとり細かな変化も報告させて頂いたり お気持ちをよく伺いたいと思えます。	○ ご家族のお話の中で気になる事など遠慮なく話して頂けるよう これからも気軽に話せるよう努めていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた際、そのままにせず その都度対応し ご本人、ご家族に一番に必要としている事を見極め 取り組んでいます。	○	ご本人、ご家族の心配事を知り今後について具体的に考え同意を得ながら、お話しを進めています。今後もご本人に合った対応をしていきたいと心がけていきたいと思います。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人やご家族が戸惑われないよう こちらのサービス内容をお話したり 要望等伺い、見学をして頂き 安心して生活できるよう お気持ちを考えながら心がけています。	○	何度か見学をして 周りの方の雰囲気を感じて頂き 時にはお茶を飲みながら皆さんと談話される事もあります。ゆったり安心して頂きたいと思っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に過ごさせてもらう中で料理の作り方や昔 流行した物を聞いたり 人生の先輩として敬う気持ちを念頭におき 色々な事を教わりながら生活しています。	○	日々の生活の中で これからも色々教えて頂き 又 うまくいかない事はお手伝いさせてもらい共に支えになる関係をより充実していきたいと思っています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の方が面会に来られると表情が明るくなったりリラックスしているように見える事など変化があった事をお伝えすると嬉しそうにして下さり こちらも嬉しくなります。色々な場面を共有していきたいと努めています。	○	昔あった事や以前の生活の様子を伺う中で内容をスタッフ間で共有し ご利用者様の人となりを大切にしていきたいと思っています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人やご家族が、お互いを思いやり気遣われている事を大切に考えています。日々の会話の中で お話ししていた事などを面会時にお伝えしています。	○	これからもご本人やご家族の思いを伺いながら 良い関係が維持できるようにと思っています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	昔からのお友達や姉妹が面会に来られたり ご家族の方と一緒に外出されたり スタッフと一緒に近くの美容室に行ったり馴染みの関係が続いています。	○	お手紙や電話で連絡をとりあったり これからも昔ながらのつながり続けられるよう支援していきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ご利用者様の様子を見てスタッフが間に入ったり一緒に手作業等、ゆっくり関わりをしています。	○	その日のご利用者様の心情に配慮した関わり方をしていきたいと思えます。又 お一人の時間も尊重しながら孤立につながらないように支援していきたいと思えます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所になった ご利用者様とご家族に いつでも立ち寄って下さいとお伝えしています。	○	これからもお付き合いを大切に立寄りやすい場所でありたいと思えます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様、ご家族にサービス計画書を作成する際やお電話や面会時に意向を伺っています。できるだけ希望に添えるように思っています。	○	希望等 話しやすい環境にありたいと思えます。ご本人が決めかねる場合は、ご家族にお聞きし 日々の生活に無理のかからないように思っています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族にこれまでの暮らしを伺い、情報を収集し把握できるよう記録しています。又、他の階のスタッフにも伝達し内容を共有しています。	○	それぞれ生活の仕方は違うので その方に合った馴染みの暮らし方ができるだけ出来るように心掛けていきたいと思えます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の様子を毎日記録しています。心情や暮らしの様子を記録し把握するよう努めています。	○	日々の生活の中で 現状を知りスタッフ間の情報共有をより深めていきたいと思えます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	新しく入所される方は関係機関やご本人・ご家族と連絡を密にとり、ご本人が望まれる介護計画の作成をしています。入所される方は定期的にはアセスメント・モニタリングを行い現在のご本人の様子やご家族の意向を伺ったり医療機関と連携をとりながら、その方に合った介護計画の作成をしています。	○	ご本人・ご家族が遠慮なく意見を述べやすい雰囲気作りをして、より良い介護計画の作成に反映させていきたいと思えます。ケアプラン作成前にご家族に意向を伺い 作成した後は内容を説明させて頂き ご本人がより良い暮らし方ができるようにご家族とお話ししながら継続していきたいと思えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	○	ご本人・ご家族の思いを尊重し無理の無い介護計画の見直しをしていきたいと思います。
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	○	これからもチャートや送りノート、ご本人・ご家族との話しなどをスタッフ間で情報の共有をし介護計画の見直しに反映させ、きめ細やかな支援をしていきたいと思っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	○	毎年行なっている夏祭りの行事等、デイサービスと合同で行なっていきたいと思っています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	○	地域のボランティアの方に来て頂き楽しい時間を過ごしたり消防訓練を継続して行なっていきたいと思っています。
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	○	ご利用者の状況に合ったサービスの利用ができるよう ご家族とお話しし支援できるように心掛けています。
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	○	ホームでの生活や行事の様子をお伝えしています。又、ご利用者様やご家族の参加もあるので意見交換等、これからも続けていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	ご家族の希望で受診同行しています。受診状況をご家族に報告し共有しています。体調に変化のある時は主治医に連絡をとり指示を仰いでいます。	○	ご家族の希望がある際は、主治医に相談します。臨時受診や他科受診についても相談に応じて下されます。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医のいる病院に定期的に通診しています。日々の様子や変化についてお伝えし相談しています。	○	かかりつけ医に通診します。必要時には専門の病院を紹介して下されます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ご利用者様に変化があれば、かかりつけ医の病院の外来看護師に電話し適宜指示を頂いています。	○	小さな事でも相談しています。ご利用者様の様子を把握し今後も継続していきたく思います。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院とご家族に連絡し状況を伺っています。入院期間や退院に向けてのお話を都度、確認しています。	○	入院・退院時にも病院相談員に相談し協力を得ています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご利用者様の状況に応じ、現状にあった環境の利用ができるよう支援しています。	○	病院、ご本人、ご家族と相談しながら対応していきたく思います。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医に相談します。指示を頂き、ご家族にお伝えし対応しています。	○	救急車要請、病院同行等行なっています。ホームの生活の中で行なえる事を支援していきたく思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	住み慣れた場所から離れ新しい環境で住み始めるという不安に配慮できるよう努めています。その方の生活歴・体調・行動・好みなどを重視した関わりが必要な事をお伝えしています。	○	新しい環境での生活に対する不安が少しでも軽減できるよう わかる範囲でお伝えしています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	ご利用者様に対し人生の先輩として関わり、声かけの1つ1つを考え、プライバシーを損ねるような事のないよう心掛けています。	○	スタッフ全員が敬う気持ちを忘れずに ご利用者様に接する事を今後も続けていきます。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	日々の生活を知り その方が無理なく行える事をお勧めします。ご利用者様に説明する際はわかりやすく簡潔にし ご本人が決めやすく安心できるよう支援しています。	○	これからも ご本人のお気持ちに配慮した支援をしていきたいと思えます。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	ご利用者様を第1に考え 家事のお手伝い、友人との時間、お一人で過ごす時間等、その方の希望等お伺いし、できるだけその思いにお応えできるよう支援しています。	○	お一人お一人の習慣や思いをふまえて安心して生活できるよう心掛けています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	着替えの際、一緒に服を選んで頂き、その方が着たい服を着て頂いています。外出する際は化粧されたり ご本人の希望によりマニキュアを塗る事もあります。ご本人の希望時や定期的に美容室に行っています。又 ご家族と美容室に出かけられる方もいらつやいます。	○	ご本人が今まで通りに身だしなみを整え自分らしくありたいというお気持ちを大切にしたいと思います。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	ご利用者様に味付けを教わったり 盛り付けや配膳、後片付けを一緒に行なって下さいます。食事制限のある方は盛り付けや味付けに工夫しています。	○	月に1~2度 食事の場所を替え他の階の皆さんと一緒に食事する機会があります。食事の時間が楽しみなものであるようメニューの工夫や行事の食事の工夫を続けていきたいと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お茶の時間等、その方の好み、今飲みたい物を伺い 状況にあわせてお出ししています。	○	これからも希望を伺い提供していきたいと思います。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	お一人お一人の排泄ペースを把握し時間を見計らいお誘いしトイレで排泄して頂けるよう支援しています。	○	できるだけ自然な排泄をと思っています。排泄の失敗や不快な時間が少なくなるよう紙パンツやパットを使用されている方への心情への配慮も続けています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴のお誘いに気乗りされない方は無理強いせず、希望を伺いながら入浴を楽しめるように心掛けています。	○	入浴の習慣もあると思いますし できるだけ自分のペースで入浴できるようにこれからも支援したいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	お一人お一人の生活リズムがありますのでお部屋で休みたい方、本を読まれる方など安心して過ごせるよう支援しています。夜間は定期的にご利用者の様子を確認しています。	○	これまでと同じようにその方それぞれの時間を大切にしていきたいと思います。又室温や寝具の整えも変わらず行なっていきたいと思っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	天気の良い日はお散歩に出かけます。地域のボランティアの方々(茶道・音楽)に協力を得て楽しい時間があります。家事や得意な事を続けられるよう その方の張り合いとなる事柄を支援しています。	○	今日のお気持ちを伺い、今後も無理なく自分らしく行なえる事を重視していきたいと思っています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自分でお金を持っている方もおります。お預かりしているおこづかいの中からお茶碗やスリッパ、ジュース等 要望に合わせて購入しています。	○	近隣にお店がないので受診の帰りなど 買物のお誘いをしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い暖かい日は、外に散歩に出かけます。畑や花壇の手入れも行なって下さいます。又 美容室なども要望があった際、出かけられるよう調整しています。	○	ご本人の体調や心理面を考え負担のかからないよう配慮し季節感を味わえるよう支援したいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年に2度位、バスに乗って近郊の公園や海や山に出かけています。ご家族と外出される方もいっしょり楽しい時間を過ごされています。	○	出かける際は、お弁当やおにぎりを持って出かけます。外に出かけ一緒に楽しみ有意義な時間を続けていきたいと思っています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	ご家族と電話で話されたり、お孫さんからのお手紙を楽しみにされている方もいっしょりします。	○	ご家族や友人など これまで同様に交流が続けられるように支援していきたいと思っています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や友人が訪問された際は、お部屋で過ごされたり フロアで一緒にテレビを観たりなど 思い思いの時間を過ごして頂いています。	○	遠方よりお見えになる方もいっしょるので ゆったりとくつろげる時間を過ごして頂きたいと思っています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止推進委員会を年に数回行なっています。又 社内研修の中でも学ぶ時間があります。	○	人生の先輩という事を忘れず常に敬意の心を持ちながら今後も接していきたいと思っています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	居室には鍵はかかかっていません。玄関は時間帯により鍵がかかっている事があります。	○	1階のデイサービスとも玄関を共有していますので安全を考えながらケアに取り組んでいきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	居室を訪問する際は必ずドアをノックし「失礼します」と声を掛けてからお邪魔します。長い時間お部屋で過ごされる方は、お茶をお持ちしその日の様子をお伺いします。	○	お一人お一人の生活のリズムがありますので日々の様子をスタッフ間で共有し安全に配慮した見守りを続けていきたいと思っています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	爪切り・はさみ・針などは、こちらでお預かりし申し出があった際、お渡しし見守りの中、使用されます。	○	ご家族に事前にお話しし安全を考え使用して頂く事を了承を得ています。これからも危険がないよう配慮していきたいと思っています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	歩行に不安がある方はスタッフができるだけ一緒に歩いています。ご利用者様の日々の体調や様子を把握し事故につながらないように心掛けています。	○	ご利用者様が安全に暮らせるよう、スタッフ間で情報を共有し事故防止の為の知識を学んでいきたいと思っています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	社内研修の中で応急手当や緊急時の対応について勉強し対応できるように心掛けています。	○	急変時に誤った対応をしないよう これからも学んでいきたいと思っています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	週に1度 ご利用者様と消防訓練を行ない、消火器や避難経路の確認を行なっています。又、地域の消防の方に来て頂き実際に消火作業をする訓練等行っています。	○	普段からあわせて ご利用者様と行なっている避難訓練をいかして身につけていきたいと思っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	近況報告や病院での受診内容等 ご家族にお伝えし ご利用者様の暮らしを大切に考えています。	○	都度、ご家族に現状をお伝えしています。

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々 一人お一人の顔色や血圧、食事の様子等の把握、夜間の状況に変化はないか日頃と様子は変わらないかスタッフと情報を共有しています。少しでも変化のある時は主治医と連絡をとり指示を仰いでいます。	○	ご利用者様の日々の様子をスタッフ間で共有する事で変化に早く気づき対応できるように努めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用の書かれている用紙を目の付く場所に保管しています。又 服薬方法は、皆さん違いますので 名前を確認し飲み込み確認まで見守りをしています。	○	薬の作用について受診病院で説明して頂く事もあります。その方にあった服薬方法を支援していきたいと思います。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分を多めに摂取して頂き 体操や座ったままできる運動やお腹のマッサージなど適度に体を動かすよう工夫しています。心配がある時は主治医と連絡をとり指示を仰いでいます。	○	日々、排便や水分表を作成し大体の把握をしています。便秘にならないよう生活の中での工夫を続けていきたいと思います。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯磨きをして頂けるよう声かけや見守り、介助を行なっています。必要の方には義歯の洗浄や洗浄液につけるなどのお手伝いをしたり歯科受診の同行を支援しています。	○	今後も一人お一人の歯磨きの様子、ハブラシの状態を見て交換する等、爽快感にもつながるよう支援していきたいと思います。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	お一人お一人 食事量や形態に違いがあり その方にあった提供を行なっています。味付けや調理方法、水分摂取の工夫を行なっています。	○	バランス良く召しあがって頂けるよう調理の際は盛り付けや味付け、心境に配慮した工夫に努めていきたいと思います。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい手洗い、外出時にマスク着用を励行しています。社内研修でも学び月2回 訓練を行なっています。外来者へ必要に応じて手洗い・消毒・うがい・マスク使用の協力をお願いしています。	○	毎日のうがい、手洗いや消毒など予防や対応に取り組んでいます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	冷蔵庫や冷凍庫の食材チェック(消費期限、購入日等)、調理器具やまな板の消毒、食材は加熱する、盛り付けは使い捨て手袋を使用しています。	○	今後も調理器具や食材の鮮度など 衛生管理に細心の注意をはらっていききたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	通路前玄関のゴミや汚れを取り除き気持ちよくご利用者様や来訪者にご利用できるように心がけています。	○	玄関までには段差はなく緩やかなスロープと手すりがあり小さな花壇もあります。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間や食堂で窓からの日射しが強い日はカーテンを利用したり季節にあった花や写真・絵などを飾り季節感を感じれるよう工夫しています。	○	ご利用者様にとって居心地良く過ごせるよう季節感を常に感じられるよう定期的に壁の絵や写真を取り換えたり工夫しています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間のソファに座りやすいよう配慮したり食堂のテーブルを利用しトランプや座談会をしたりベンチ椅子に座って本を読んだり思い思いに過ごせるように工夫しています。	○	個別の時間を尊重したり みなさんとの時間を尊重したり その時が落ち着かれる時間になるようにと思っています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	以前から使用していた家具や身の周りの物をお持ちになって頂いています。又 ご本人が新たに使いやすい物を置く事により居心地よく過ごせるように考慮しています。	○	自分の部屋で安心してくつろげるよう今後も支援していききたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の際や換気の為、日に数回空気交換を行なっています。冬期間は湿度を保てるよう濡れタオルを使用しています。	○	季節感を感じながら 新鮮な空気をとりこんでいます。これからも気温や湿度に気をつけていききたいと思います。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	洗面台やトイレ、浴室、廊下に手すりが付いています。床は段差がなく、通路は広めで行き来しやすくバリアフリーとなっています。	○	手すりもつかまりやすい位置にありスポットライトや床材に工夫がされています。これからも安全に暮らしていけるよう支援していきたいと思ます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご利用者様の心情や状況を知り 今行なえる事を不安なく続けられるよう お手伝いしています。	○	敬う気持ちを忘れず、無理のかからないように、ご自分で出来る事を続けられる場面で自信を持って頂けるようにお手伝いしていきたいと思ます。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	春になったら外の庭や畑に野菜やお花を植え 水やりや野菜の成長をベンチに座り時にはお茶を飲みながら楽しんで頂いています。	○	小さな中庭があります。手稲山近郊が望め季節感を感じています。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) ご利用者様のお気持ちを大切にし ゆったりと過ごして頂きたいと思います。